

News Release

2015年1月29日
一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA)

産業用汎用電気機器の出荷実績 2014年12月度及び第Ⅲ四半期(10~12月)

JEMAでは、わが国の重電産業に関する基礎資料のうち、重電機器における産業用汎用電気機器の市場動向等をより早くお伝えし、重電産業の景況を把握して頂くために、JEMA 会員独自で実施している重電機器の自主統計を一般に公表しております。

ここに、産業用汎用電気機器の「12 月度及び第Ⅲ四半期(10-12 月)」の出荷実績を公表致します。

12 月度の出荷実績の概況

産業用汎用電気機器の 12 月度出荷実績は 717 億円(前年同月比 108.3%)と、18 ヶ月連続で前年同月を上回った。(* 以下、前年同月比は「同」と略記)

・国内は更新需要を中心とした設備投資を背景に前年同月超えを継続しており、またその中で、三相誘導電動機(75kW 以下)においては、2015 年 4 月からのトッランナー基準の適用開始を前に好調を維持している。また、主要機器の輸出も好調を維持している。

【回転・駆動機器】

12 月度の出荷額は 262 億円(同 113.8%)となった。

・三相誘導電動機(75kW 以下)は前年同月比で 117.3%と、2 桁の増加となった。

・サーボモータ(アンプを含む)は工作機械や半導体製造装置、電子部品向けなど国内、輸出ともに好調である。

・汎用インバータは国内、輸出ともわずかに減少となった。

【配電・制御機器】

12 月度の出荷額は 328 億円(同 108.4%)となった。

・昨年 4 月にトッランナー基準(第二次)の適用が開始された標準変圧器(2000kVA 以下)は、太陽光発電用の受電設備向けが好調で 6 月以降、7 ヶ月連続で前年同月を上回った。

第Ⅲ四半期(10~12 月)の出荷実績の概況

2014 年度 第Ⅲ四半期(10-12 月)の出荷額合計は 2,117 億円(前年同期比 109.5%)と、7 四半期連続で前年同期を上回った。

・国内は更新需要を中心とした設備投資の増加を背景に好調を維持している。輸出も好調である。

産業用汎用電気機器出荷統計の凡例

■対象(産業用汎用電気機器)

標準仕様で生産する量産品である産業用汎用電気機器を調査対象としております。

流通は代理店経由が多く、需要先は民需製造業の生産設備を中心に多岐にわたります。

産業用汎用電気機器は、回転・駆動機器、配電・制御機器に区分され、製品ごとの出荷実績額を把握することができます。

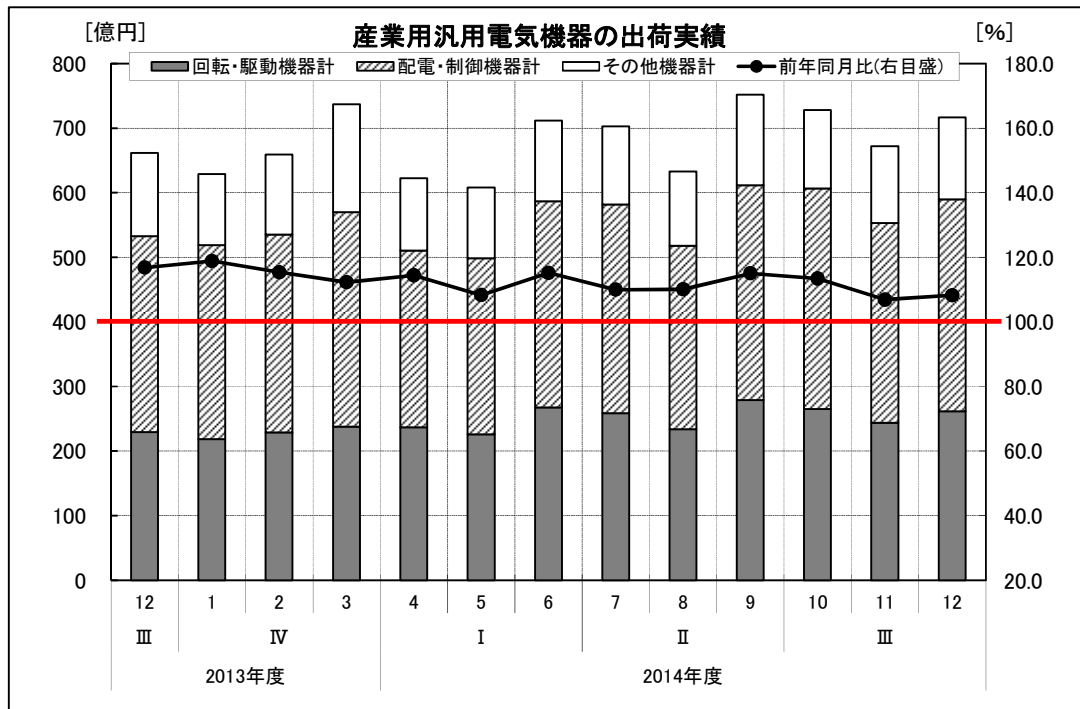
■公表の内容

単月の産業用汎用電気機器全体の出荷実績額、主要製品の輸出を把握することで、国内外の市場動向をより早く掴むことができます。また、産業用汎用電気機器の出荷実績では直近の国内外の景況の判断材料として活用できます。

■公表の種類

JEMA 会員独自で実施している自主統計を月次で公表致します。

【月別推移】



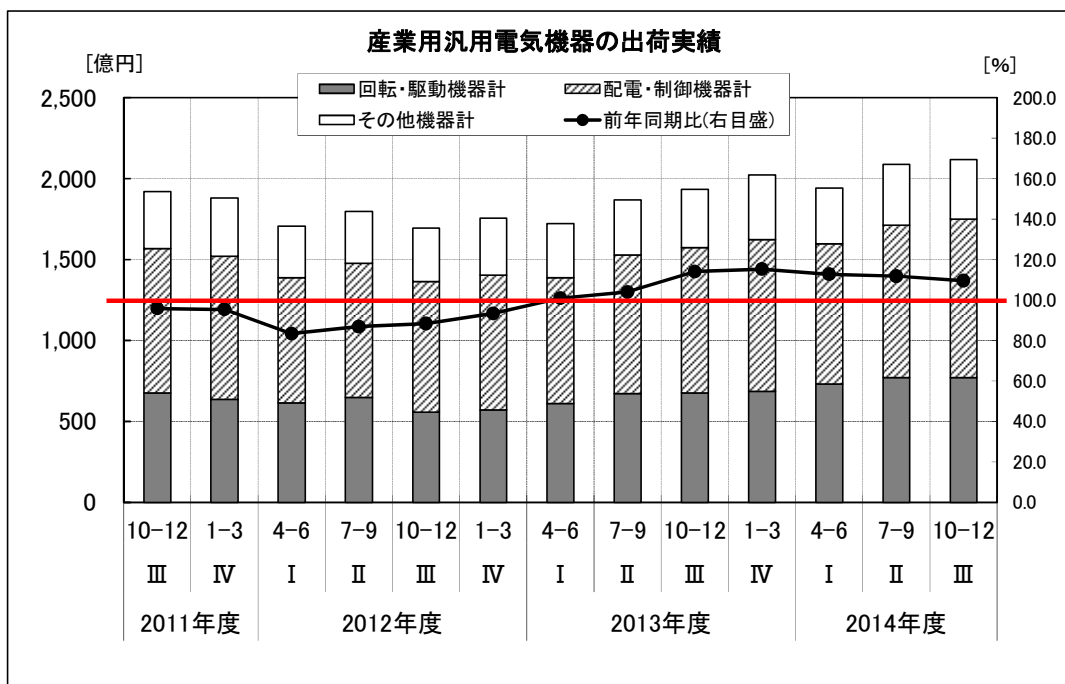
産業用汎用電気機器出荷実績月別推移

単位:金額[億円]、前年比[%]

	2014年度 上期	2014/ 10	11	12	2015/ 1	2	3	2014年度 下期	2014年度 合計
出荷合計	4,031	728	672	717				2,117	6,148
前年比	112.2	113.4	106.9	108.3				109.5	111.3
回転・駆動機器計	1,503	265	244	262				771	2,274
前年比	117.1	119.2	109.3	113.8				114.1	116.1
配電・制御機器計	1,806	342	309	328				979	2,785
前年比	110.8	113.3	105.3	108.4				109.0	110.2
その他機器計	721	121	119	127				367	1,088
前年比	106.4	102.8	106.5	98.0				102.2	105.0

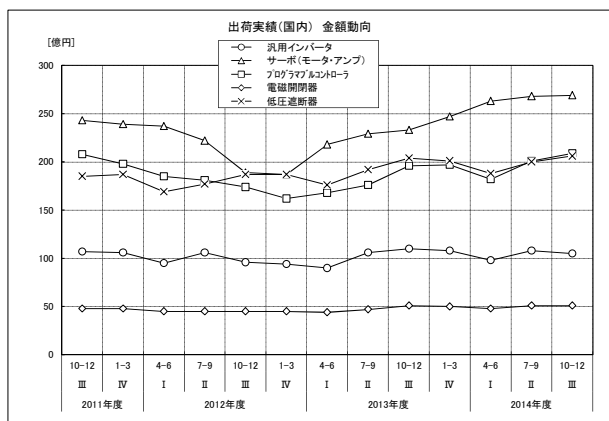
(注)各数値は単位未満を四捨五入している、その合計値は一致しないことがある。

【四半期別推移】



■主要機器の推移

国内



輸出

